

第3回産業競争力会議後の甘利大臣記者会見要旨

○日 時 : 平成25年2月26日(火) 19:49~19:57

○場 所 : 官邸3階エントランス

1. 冒頭発言

本日、急遽開催しました産業競争力会議の第3回会合が先ほど終了いたしましたので、その概要をご報告申し上げます。

本日は、環太平洋経済パートナーシップ協定、いわゆるTPPについて議論を行いました。会議ではまず、安倍総理から、今般の日米首脳会談の結果について、次のような報告がありました。

経済政策について、「三本の矢」の説明をし、日本経済の再生は世界にとって有意義であるとの認識を共有した。TPPに関してはその意義やそれぞれの国内事情を含め、じっくりと議論をし、共同声明を発出をした。今回のオバマ大統領との会談により、TPPでは「『聖域なき関税撤廃』は前提ではない」ことが明確になった。大統領との会談では、これ以外にも自分たちが示してきた5つの判断基準についても言及をした。日米首脳会談の成果を踏まえ、本日の会議でのご意見を参考にしながら、内閣総理大臣として国益にかなう最善の道を判断したいと考えている。

また、訪米に同行しました岸田外務大臣から補足の説明があった後に自由討議を行いました。民間議員からは、今回の成果を歓迎するといった意見が大宗を占めました。

この他、次のような意見がありました。自由貿易の拡大は世界と日本の利益。日本の産業は自由貿易による競争を通じて強くなってきた。TPP参加以前に、より魅力のある農業としていくことが必要である。守りの農業から攻めの農業にする決意をすべきだ。競争力強化のための制度改革を重視すべき。多国間交渉では早く参加することが有利である。速やかに交渉参加を決断すべきである。

また、別の民間議員から、TPPの問題については正しい情報をしっかり国民に説明をし、理解を得ることが必要である。TPPに関して何を実現しようとしているのか、日本経済にどのようなプラスになるのかを包括的に総理自身が明確に国民に示すことが必要である。他のFTAなどの交渉を含めた高度な戦略を国として持つべきである。

また、別の民間議員から、貿易立国の観点から、通商政策は重要である。域内のレベルの高い包括的な経済連携を目指すべきであり、TPPはそのためのステップである。

また、別の民間議員から、国民のさらなる国際化、特に英語力のアップが重要になる。といった意見がございました。私からは以上です。

2. 質疑応答

(問) こうした民間議員からの意見を受けて、政府側としては何かコメントなされたのでしょうか。

(答) 総理からは、貴重なご意見をいただいた、これからも各方面から色々な意見を聞きながら、国益にかなう選択をしたいというようなお話でありました。

(問) 交渉に対して早期に参加すべきという声が多かったということですが、これに対して政府側、当然前向きな方向で交渉参加に検討するということですか。

(答) 識者の皆様方が声をそろえてそういうご発言だったということは政府としても重く受け止めていくこととなろうかと思えます。

(問) 交渉参加に前向きで検討されるということですか。

(答) 総理がですね、国益を踏まえて最善の道を選択される、総理ご自身が参加の有無や時期についてご判断されるものと思っております。

(問) 参加時期ですとか例外品目について具体的な話はあったのでしょうか。

(答) それはありません。

(問) 今日懇談が予定されていたのに、急遽正式な会合を開いた理由について改めて教えてください。

(答) 懇談会の機会、ちょうど総理が日米首脳会談を終わられて帰国されたという極めてタイムリーなタイミングで開かれたものでありますから、総理のご報告を伺って、そして意見交換をしようということになった次第です。

(問) 前向きな発言が大勢をしめたということですが、逆に後ろ向きな発言は何かあったのでしょうか。

(答) 記憶にありません。皆様前向きな御発言でした。

(問) 政府の交渉参加判断に向けて、あと乗り越えるべき課題というのはどんなものがありますでしょうか。

(答) これから総理は国益にどうかなうかの判断材料をいろいろ揃えられるのだと思いま

す。試算をするしないを含めて、総理のご指示がいずれであろうかと思えます。

(問) 材料を集めるのはどれくらいの時間をかけようというお考えでしょうか。

(答) それは総理ご自身がお考えになられることだと思えます。

(問) 試算しないという可能性もあるのでしょうか。試算はされるのでしょうか。

(答) たぶんされると思いますが、それは総理にお聞きいただきたいと思えます。

(問) 米国側がセンシティブと挙げている一定の工業製品という点について、委員から意見なり、これこれはどういうふうになるのかというようなやりとりというのはありましたでしょうか。

(答) アメリカからそういう話が出たということは、むしろ交渉としてはやりやすいのではないかというような御発言が民間議員からありました。

(以上)